

# 国語科学びづくり案

福山市立霞小学校

- 1 日時 2025 年（令和 7 年）10 月 31 日（金）
- 2 学年 第 3 学年 1 組（30 名）
- 3 単元名 食べ物をおいしく食べる工夫を調べて、食べ物変身ブックを作ろう  
「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」（光村図書）

## 4 単元について

### （1）教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語 第 3 学年及び第 4 学年〔思考力、判断力、表現力等〕B 書くこと（1）イの指導事項「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。」及びC読むこと ウの指導事項「目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。」を受けて設定した。

「読むこと」の教材である説明的な文章「すがたをかえる大豆」は、全体が「はじめ」「中」「終わり」の構成で書かれており、「中」は五つの事例を用いて大豆を美味しく食べるための工夫を説明した、必要な情報を見付けやすい文章である。大豆の加工品は、見た目からは大豆からできていると想像できないものも多く、児童にとってはその意外性を楽しむことができる内容となっている。本教材の事例は、すがたを変えるための手順が少ない順番で説明されている。だんだんと大豆の原型がなくなっていることに気が付き、場面にあったつなぎ言葉を使用して、読み手にわかりやすい文章にする工夫を知るために適した教材である。

「食べ物のひみつを教えます」は、「すがたをかえる大豆」で学習した説明の工夫を使って、食べ物のひみつについて説明する文章を書くことをねらいとしている。自分が選んだ食材について学校図書館資料を使用して情報を収集したり、集めた情報を整理したりすることで、文章を書く有効的な順番やつなぎ言葉について考えることで、相手にわかりやすい説明ができる文章構成を身に付けることができる教材である。

### （2）児童観

本学級の児童は、1 学期に「文様／コマを楽しむ」の学習を通して「はじめ・中・終わり」といったまとまりや、「問い」の文章構成に着目しながら、段落ごとの内容を読み取る学習をしてきている。段落に注目して読み進め、なぜこの順番で文章が構成されているのか、文を読む人にとって効果的な順番についての理解は不十分である。また、つなぎ言葉については、どのようなつなぎ言葉があるか、つなぎ言葉の役割の理解には至っていない。

文章で意見を表すことについては、意欲的に取り組もうとしているが、自分の意見を整理することができず書けない児童が多い。そのため組み立てメモを取り入れて文章の作成を行った。組み立てメモを活用して文章を書くことができた児童の割合は、2 割にとどまっている。組み立てメモの作成に取り組むことはできるが、文章の作成にどのように生かすのかについて理解できていないことがわかった。

### (3) 指導観

指導に当たっては、「すがたをかえる大豆」では、文章が「はじめ」「中」「終わり」に分けられることや、「中」には事例が示されている構成を押さえた上で、事例が順序立てて整理されていること、写真にキャプションを自分で考えさせることで、写真資料が効果的に使用されていることなどに気づかせる。その際、「次に」「また」「さらに」などのつなぎ言葉に注目して読み取ることで事例が提示される順番について考え、食材の形がわかるものから形が変わり気付きにくいものの順で説明されていることや、なぜそのように書いたのかについても「読む人の気持ちになって考える」視点を強調することで考えさせたい。

教材文を読む際に組み立てメモを活用して要約し、文章の全体をつかませることで、組み立てメモを作成することで文章全体の概要がつかめるというよさに気付かせたい。要約が難しい児童に対しては、まずは教科書の大事なところに線を引き、その一文を「何について」「どうなる」「まとめ」に分けるところから始めさせる。「食べ物変身ブック」を作成する活動においても、ウェビングマップからフィッシュボーン、組み立てメモへと段階を踏んで整理することで、伝えたいことを明確にした上で、段落相互の関係に注意して文章を構成する力を身につけることにつなげたい。

学校図書館の活用については、「すがたをかえる〇〇」シリーズを利用する。「食べ物変身ブックを作ろう」において食材がどのような段階を踏んで、食品に変わっていくのか調べる際に資料として活用する。

## 5 単元の目標と評価規準

### (1) 目標

○接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。

【知識及び技能】(1) カ

○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考慮することができる。

【思考力、判断力、表現力等】B (1) イ

○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。

【思考力、判断力、表現力等】C (1) ウ

○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

【学びに向かう力、人間力等】

### (2) 評価規準 ( ) 内は鷹取中学校区育成する力(資質・能力)

知識・技能 (知識・技能)	思考・判断・表現 (課題発見・解決力)	主体的に学習に取り組む態度 (主体性)
① 接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	① 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 ② 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のま	① 粘り強く、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考え、学

	とまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	習課題に沿って、食べ物の変身を説明する文章を書こうとしている。
--	------------------------------------------	---------------------------------

6 単元計画（全 15 時間）

次	時	学習活動	学校図書館利用のポイント	評価規準
（単元開始前）			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館及び市立図書館にある「すがたをかえる〇〇」シリーズの本を教室に置いておき、すがたをかえる食べ物について興味をもてるようにする。</li> </ul>	
一	1	○教材文「すがたをかえる大豆」を読み、「食べ物のみみつブックを作ろう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すがたをかえる〇〇」シリーズの本を並行読書させ、第三次に入るまでにどの食べ物でブックを作成するか決めておくことを児童に知らせる。</li> <li>「食べ物のみみつブック」に書きたいことは、随時メモに書き留めておくように伝えておく。</li> </ul>	
二	2	○教材文を通読し、「はじめ」「中」「終わり」のまとまりを見付け、「はじめ」「中」「終わり」で説明していることや、筆者が自分の考えを伝えるために「中」において用いている事例の数などを「組み立てメモ」に整理する。		
	3	○題名とのつながりに着目しながら「終わり」の部分で筆者が最も伝えたいことを見付け、「組み立てメモ」に要約す		○接続する語句の役割、段落の役割について理解してい

		る。		る。(組み立てメモ) [知①] ※第二次では指導に生かす評価に留める。
	4	○題名や「中」「終わり」との関係に着目しながら「はじめ」の部分を読み、1・2段落の中心となる語や文を見付けて要約する。		
	5	○「中」の部分で用いられている事例それぞれについて、「はじめ」「終わり」との関係に着目しながら、中心となる語や文を見付けて要約する。	・ 並行読書している本に紹介されている食べ物も、大豆のように変身していることを想起させる。	○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(組み立てメモ) [思②]
	6	○文章全体を通読し、筆者の「せつめいのしかたのくふう」を組み立てメモに整理する。	・ 並行読書させている図鑑と教材文を見比べ、文種が異なるため、構成や言葉の使い方、写真の使い方なども異なっていることに気付かせる。	
三	7 8	○並行読書をしながら書きためたメモを見返し、教材文「すがたをかえる大豆」で学習したことを想起しながら、自分が選んだ食べ物について最も伝えたいことや事例として用いたい内容を整理する。		
	9 (本時)	○内容のまとまりで段落を作ったり段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考え、構成メモに整理する。		○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(組み立てメモ) [思①]
	10 11	○構成メモをもとに、自分の伝えたいこととそれを支える理由や事例との関係を明確にしながら、文章を作成する。 ※第8～11時は、構成メモと文章を行き来しながら文章を作成させていく。		

				<p>○粘り強く、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考え、学習課題に沿って、食べ物の変身を説明する文章を書こうとしている。[主①]</p> <p>○接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(組み立てメモ) [知①]</p>
	12 13	<p>○読んだ文章を読み直し、文や文章を整える。</p> <p>○書いた文章を読み合い、互いの文章の良いところについて伝え合う。</p>	○作成した文章は、学校図書館に配架し、他学年に読んでもらう。	
四	14	○再度教材文を読み、教材文に対する感想を書き、伝え合う。		
五	15	○単元全体の学習を振り返る。		

## 7 本時の目標

自分の選んだ食材の本から大切な言葉を見つけて文章の構成を考えることができる。

## 8 本時の展開

展開	◎学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意事項	◆評価規準 (評価方法)
導入	<p>◎前回までの流れを確認し、本時でやることを確認。</p> <p>・前回までは、食べ物変身ブックをつくるために、調べたい食べ物を決めたり、ウェビングマッ</p>		

	<p>プとフィッシュボーンを使って何について書くのかを決めたりしました。</p> <p>・今日は前回の思考ツールを見ながら、組み立てメモを作ります。</p> <p>◎めあてを提示する。</p>		
	<div>めあて　これまで作った思考ツールから、組み立てメモに整理しよう。</div>		
展開	<p>◎調べたい題材に沿った本を机上に準備する。</p> <p>◎読み取りの際に作成した組み立てメモや書き方の工夫で気がついたことを参考にしながら、組み立てメモの作成に取り組む。</p>	<p>○ある程度完成したら、友達同士で見せ合うことで、自分で作成した構成メモに足りない情報があることに気が付かせる。</p> <p>○書くことが苦手な児童には「思考ツールをそのまま写すだけでも組み立てメモになるよ」「文章にしなくても良いから、キーワードを置いてみよう」などアドバイスをする。</p>	<p>◆「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。</p> <p>（組み立てメモ）[思①]</p>
			<div>学校図書館活用のポイント</div> <p>調べたい題材に沿った「すがたを変える〇〇」の本・思考ツールを準備し、文章作成の手がかりとする。</p>
まとめ	<p>◎本時のふり返しを行う。</p>	<p>○ふり返りの視点に沿って振り返らせる。</p>	
	<div> <p>ふりかえり・ウェビングマップやフィッシュボーンで情報を整理して、伝えたいことを絞ることができた。</p> <p>・次は、作文を書く時にも分かりやすくまとめるために使いたい。</p> </div>		
	◎次の時間の学習を確認する。		

8 板書計画

すがたをかえる大豆 国分 牧衛

①め これまで作った思考ツールから、組み立てメモに整理しよう。

段落	要約	書き方の工夫
1・2	「大豆はそのまま食べるだけではなく、すがたを変えて食べられている。」	問いかけをすることで読み手を引きつける。
3・4	「煮たり炒ったり、挽いたりして食べる工夫」 「大豆をすりつぶし、ニガリを入れて固めると豆腐になる」 「蒸した大豆に納豆菌をつけて発酵させると納豆になる」 「大豆に麹を合わせ発酵させると味噌になり、さらに絞ると醤油になる」 「収穫する時期や育て方を変える工夫」	使われている料理や食品の具体例を挙げながら説明している。 作り方について順を追って説明している。
5		菌の働きを比べながら説明している。
6		
7		
8	「大豆は様々な食べ物に変わり、私たちの食生活を支えている」	大豆の良さを強調して締めくくっている。

②ふ ・ウェブングマップやフィッシュボーンで情報を整理して、伝えたいことを絞ることができた。  
・次は、作文を書く時にも分かりやすくまとめるために使いたい。